

個別事業説明書【PR版】

農 林 水 産 部

1 防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

令和7年度6月補正予算(案)
予算額 542,447千円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用し、漁港施設の機能強化、治山対策及び森林整備の実施による防災・減災対策の推進を図り、県民の安全・安心を確保する。

お問い合わせ先
農林水産部森林局
森林整備課
(089-912-2595)
農林水産部水産局
漁港課
(089-912-2625)

指標

施策	KGI	別紙のとおり	現状値	別紙のとおり
細施策	KGI	別紙のとおり	現状値	別紙のとおり
			目標値	

事業イメージ

KPI

別紙のとおり

現状値
目標値

別紙のとおり



【漁港の機能強化】



【治山事業】

大規模災害に備えた
防災・減災対策の推進



【森林の適正管理】



【森林の適正管理】

県民の安全・
安心の確保

事業概要

○国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく
施策等の活用

1.地震・津波に対する安全性を確保するための漁港の整備

頻発化、激甚化する高潮・波浪等による自然災害に加え、東日本大震災を踏まえた大規模な地震・津波に対応した漁港施設の機能強化を図り、漁港及び背後集落の安全確保を推進する。

157,500千円【漁港課】

2.豪雨等により山地災害の危険性が高まった地区における治山対策

異常な天然現象等により被災した荒廃山地について、谷止工などの山地防災対策を行うことにより健全な森林の維持造成を図る。

61,343千円【森林整備課】

3.森林の適正管理・保全のための間伐の実施及び森林作業道等の整備

森林が持つ多面的機能を発揮させるため、森林の適正な管理に寄与する各種の森林施業への支援を行い、林業の活性化と山村振興を図る。

323,604千円【森林整備課】

1 防災・減災、国土強靱化の推進等事業 (農林水産部)

指標

施策	細施策	事項名	KPI
<p>17:農林水産業の生産振興</p> <p>KGI 農業産出額 <small>現状値 1,295億円 (R5年)</small> <small>目標値 1,200億円 (R8年)</small></p> <p>KGI 林業・木材産出額 <small>現状値 610億円 (R4年)</small> <small>目標値 430億円 (R8年)</small></p> <p>KGI 漁業産出額 <small>現状値 1,086億円 (R5年)</small> <small>目標値 900億円 (R8年)</small></p>	<p>17-9:生産基盤の保全・整備</p> <p>KGI 農林漁業の生産基盤整備率 <small>現状値 69.9%(R6年度)</small> <small>目標値 100% (R8年度)</small> <small>(単年度)</small></p>	<p>広域漁港整備事業費 (漁港課)</p>	<p>KPI 整備完了により、地震・津波に対する安全性を確保した漁港数 <small>現状値 8漁港(R4~6年度累計)</small> <small>目標値 10漁港(R4~8年度累計)</small></p>
<p>29:大規模災害に備えたまちづくり</p> <p>KGI 災害想定死者数 <small>現状値 16,032人(H25年)</small> <small>目標値 2,439人</small></p>	<p>29-6:農山漁村地域の防災対策</p> <p>KGI 農山漁村地域の災害死者数 <small>現状値 0人(R6年度)</small> <small>目標値 0人(R8年度)</small></p>	<p>山地防災治山事業費 (森林整備課)</p>	<p>KPI 土石流等による2次災害の発生防止対策がされた箇所数(県営) <small>現状値 19か所(R6年度)</small> <small>目標値 20か所(R8年度)</small></p>
<p>37:自然との共生</p> <p>KGI 県土における自然環境エリア(自然公園、鳥獣保護区、里地里山等)の割合 <small>現状値 10.1%(R6年度)</small> <small>目標値 20%(R8年度)</small></p>	<p>37-3:農山漁村が有する地域資源の保全</p> <p>KGI 農山漁村が有する地域資源の維持に向けた活動面積(森林、農地、水路) <small>現状値 21,845ha(R5年度)</small> <small>目標値 22,000ha(R8年度)</small></p>	<p>造林事業費 (森林整備課)</p>	<p>KPI 森林整備実施面積(当該年度) <small>現状値 1,087ha(R6年度)</small> <small>目標値 2,000ha(R8年度)</small></p>



2 林野火災対応緊急治山事業費

林野火災により被災した荒廃山地について、今後の降雨等により二次災害が発生するおそれがあるため、山地防災対策により災害の未然防止を図り、県民が安全で安心して暮らせる強靱な県土づくり及び災害に強い森林づくりを推進する。

お問い合わせ先
農林水産部森林局
森林整備課
(089-912-2600)

指標

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	現状値	16,032人 (H25年度)
	KGI	災害想定死者数	目標値	2,439人 (R8年度)
指標	細施策	29-6 農山漁村地域の防災対策	現状値	0人 (R6年度)
	KGI	農山漁村地域の災害死者数	目標値	0人 (R8年度)

事業イメージ

KPI	林野火災により土砂流出対策が必要となった箇所の整備率	現状値	-
		目標値	100% (R7年度)

事業概要

災害関連緊急治山事業等 378,000千円

(1) 溪間工

谷止工の施工により、火災により不安定化した土砂の流出の抑制を図る。

[施行箇所] : 6箇所

(2) 山腹工

山腹緑化工の施工により、植生の回復及び斜面の安定化を図る。

[施行面積] : 4.0ha

(3) 全体計画調査

災害関連緊急治山事業の後続事業で実施する治山工事に速やかに着手するために、被災区域内の山林において、溪間工、山腹工にかかる調査・測量を実施する。

【被災状況】

焼損範囲(481.6ha)

焼損状況

延焼状況

出典：環境アセスメントデータベース (EADAS) (<https://www2.env.go.jp/eiabd/>) を加工して作成
出典：国土地理院 (電子国土web) を加工して作成

【対策イメージ】



溪間工



山腹工



3 農業支援サービス拡大促進事業費

農業現場の労働力不足が深刻化する中、生産性向上や規模拡大など農業経営の持続的発展を図るため、農作業をサポートする農業支援サービス事業者の育成・強化、サービス提供に必要なスマート農業機械等の導入に要する経費の一部を補助する。

お問い合わせ先
農林水産部農業振興局
農産園芸課
(089-912-2565)

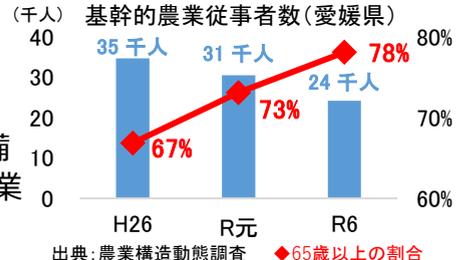
指標	施策	17 農林水産業の生産振興 KGI 農業算出額	現状値	1,295億円 (R5年)
	細施策	17-4 農業の生産振興 KGI 主な農産物の生産量 (各振興計画に記載のある主要品目)	現状値	314kt (R6年度)
			目標値	1,200億円 (R8年)
			目標値	338kt (R8年度)

事業イメージ **KPI** 支援対象事業者が新たに取組むサービス提供面積 (R9年度目標320ha達成に向けたR7年度目標値を設定)

現状値 -
目標値 14ha (R7年度)

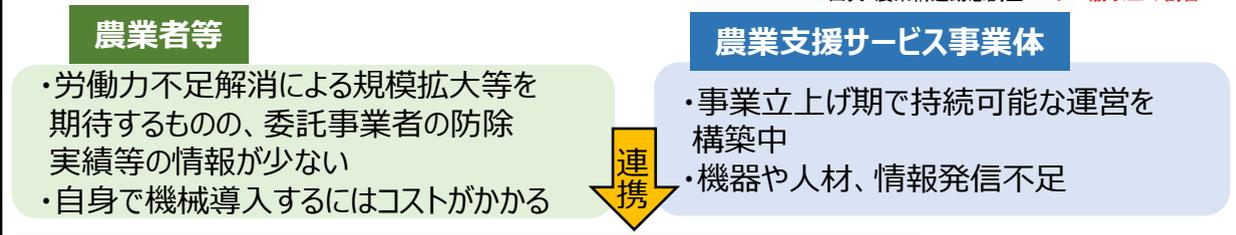
【現状・背景】

- ◆ 基幹的農業従事者数は直近10年間で3割減、高齢の農家への依存度が高まっている
- ◆ このままでは、農業の持続的な発展や食料の安定生産を確保することは難しい
- ◆ 一方、農業現場では、スマート農業技術の導入や農業支援サービスの提供・利用が始まり農作業の効率化等による生産性の向上に期待



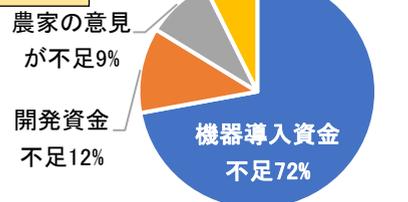
【課題】

- ◆ 農業者等が農業支援サービスを利用しやすい環境の整備
- ◆ 人手が少なくても広範囲を効率よく作業できるスマート農業機械等の現場導入の促進



○ 農業者等の求める農業支援サービスが利用しやすい環境の整備
○ 人口減少下で生産水準が維持できる生産性の高い農業の拡大

支援サービス設計の問題



【対策】

- ◆ 農業支援サービス事業者育成対策
 - ・サービス事業立上げ期のビジネス確立支援
- ◆ スマート農業機械等導入支援
 - ・サービス提供に必要なスマート農業機械等の導入

事業概要

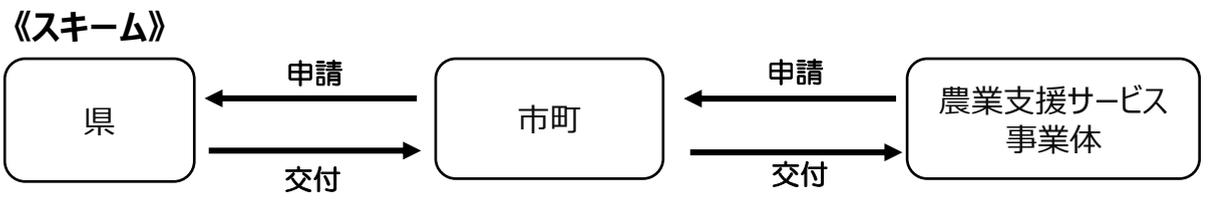
農業支援サービス拡大促進事業 **48,091千円**

- 1 農業支援サービス事業者育成対策** **1,650千円**
 - (1) 内容: サービス事業の試行、ニーズ調査、人材育成、PR等に要する経費を補助
 - (2) 補助率: 10/10 (定額)
 - (3) 事業主体: 市町 (事業実施主体: 農業支援サービス事業者)
- 2 スマート農業機械等導入支援** **46,441千円**
 - (1) 内容: サービス提供に必要なスマート農業機械等の導入又はリースに要する経費を補助
 - (2) 補助率: 1/2 以内 (補助上限: 1 事業実施主体あたり15,000千円、ただしスマート農業機械を導入する場合は30,000千円)
 - (3) 事業主体: 市町 (事業実施主体: 農業支援サービス事業者)



【農業支援サービス事業者】

- 従来の農作業受託組織に加え、農作業の代行やスマート農業機械のレンタル、データ分析、人材派遣等のサービスを農業者に有償で提供する事業者のこと
- 改正農業基本法等では、農業の生産性向上や持続可能な発展を支える重要な役割を担うものとして位置付け



4 海業振興支援事業費

海業の展開による漁村地域の所得向上と雇用機会の確保に向けて、漁港施設の活用を促進するため、漁業協同組合等の海業への取組みに必要な調査、効果分析、取組みの実証等を支援する。

お問い合わせ先
 農林水産部水産局
 漁港課
 (089-912-2625)

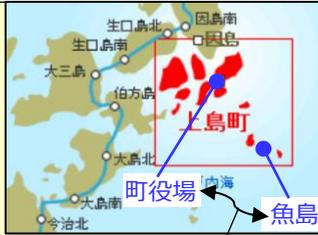
指標	施策	17 農林水産業の生産振興 KGI 漁業産出額	現状値	1,086億円 (R5年)
	細施策	17-7 漁業の生産振興 KGI 漁業生産量	目標値	900億円 (R8年)
			現状値	137千t (R6年度)
			目標値	143千t (R8年度)

事業イメージ KPI 漁港施設等活用事業に取り組む団体数 (県内で選定されている「海業の推進に取り組む地区」3団体 全てでの実施を目指す)
 現状値 1団体 (R6年度)
 目標値 3団体 (R7年度)

海業 (うみぎょう) 漁村の人々が、海や漁村の地域資源を活用して地域のにぎわいと所得や雇用を生み出す地域活性化の取組み

愛南町 令和5年度から海業に取り組み、令和6年3月、「愛南町海業ランドデザイン」を策定
 令和7年度、海業振興支援事業により、ぎょしょく体験プログラムの実証を行う

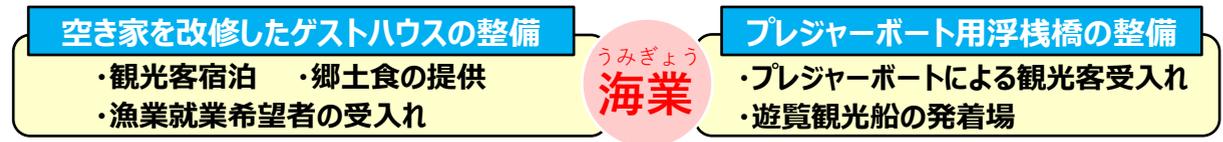
上島町魚島



【現状】 ○島の産業はほぼ漁業 ○人口減少、高齢化
 ○交通アクセスが悪い (定期船4便/日)
 一方、○広く良好な漁場、自然豊かな景観・歴史・伝統文化を有する

【課題】 ○漁業の後継者不足 ○漁業以外の雇用の創出
 ○増加する空き家 ○定期船以外の移動手段の確保
 ○ゆめしま海道 (弓削、生名、岩城地区) を訪れる観光客の魚島への誘客

【対策】 ○漁業以外の産業の創出 ○漁業のワーキングホリデー、お試し就業体験の受入態勢整備
 ○空き家を改修した宿泊施設の整備 ○プレジャーボートによる来訪に対応する浮棧橋の整備
 ○漁業体験活動、海洋環境学習等のコンテンツ構築による誘客



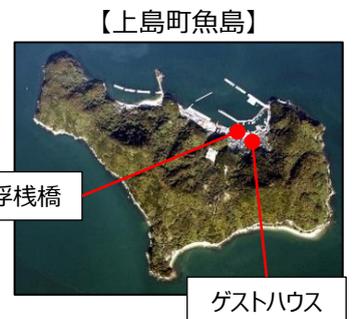
【目指す目標】
 雇用の創出、漁業後継者の確保、漁業者の所得向上

漁村地域の活性化

事業概要 海業振興支援事業 4,000千円

- 1 事業実施主体** 愛媛県漁業協同組合魚島支所
- 2 補助率** 国 10/10 (定額)
- 3 補助対象**
 海業の取組みに必要な調査、効果分析、取組みの実証等にかかる経費
 (賃金、消耗品費、旅費、謝金、委託費、その他)

- 4 事業内容**
 - (1) ゲストハウス整備に係る検討
 - ・利用の想定
 - ・施設の規模
 - ・概算事業費
 - (2) プレジャーボート用浮棧橋設置に係る検討
 - ・利用の想定
 - ・施設の内容
 - ・概算事業費
 - (3) 海業関連施設運営体制の検討
 - ・施設運営体制
 - ・民間事業者ヒアリング
 - ・施設利用に係るルール
 - (4) 費用対効果・事業化実現方策の検討
 - ・費用対効果
 - ・整備スケジュール
 - ・補助制度
 - (5) 海業推進協議会サポート
 - ・資料作成等



空き家を改修したゲストハウス整備 (島内の空き家)



プレジャーボート用浮棧橋 (設置例)

